



TAITO フューチャースクール検討委員会 中間報告(案)

～デジタルを活用した

多様で柔軟な学習環境の構築による学びの変革～

令和7年12月4日

TAITO フューチャースクール検討委員会

1 はじめに

令和3年1月26日に中央教育審議会が取りまとめた『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）』において、新しい時代の学びの姿が示された。

また、加速度的に社会が変化しているということが言われて久しいが、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来、生成AIの加速度的発展などにより、これまでの想定を超えて社会の変化が加速化・非連続化している。

そのような時代にあって、「令和の日本型学校教育」の姿として、学校におけるDXの下、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められている。

そこで、ICTを学校教育の基盤的なツールとして活用して、台東区立学校における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童・生徒が持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成するとともに、校務の効率化等により教員の働き方改革となる「新しい時代の学校」の実現を図ることを目的として、本委員会が設置された。

本委員会に置いては、台東区における「新しい時代の学校」をTarget innovation to the Future School（未来に向けた目標志向と革新のある学校、以下、「TAITOフューチャースクール」という。）とし、台東区学校教育ビジョンとの整合を図るとともに、中央教育審議会における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方や、デジタル学習基盤の在り方、質の高い教師の確保に向けた環境整備の在り方など、様々な視点からの多角的な議論を積み重ねてきた。

さらに、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性に照らして、TAITOフューチャースクールの在り方と実現に向けた方策について検討を進めてきた。

本中間報告は、2年間の議論を経て、本委員会に参画した委員間で一定の共通認識を得たものを中心としてTAITOフューチャースクールの在り方に関し今後検討を深めるべき具体的な方策等について、意見をまとめたものであり、これからモデル校の更なる実践等を踏まえ、具体的な検討を行っていくことが望まれる。今後、本中間報告については、TAITOフューチャースクールの在り方と実現に向けた方策について検討を行っていく際の基礎的な資料として活用されることを期待したい。

令和7年12月15日

検討委員会委員長 高橋 純

2 検討の経緯

(1) 委員会の開催状況（回数、主な議題）

○ 令和6年度

- ・ 第1回 委員委嘱、委員長・副委員長選出、委員会の目的・スケジュール等
- ・ 第2回 先進校視察報告、モデル校報告、委員提案、コンセプト提案
- ・ 第3回 先進校視察報告、モデル校報告、コンセプト提案、次年度スケジュール

○ 令和7年度

- ・ 第1回 委員会の目的・スケジュール等、モデル校報告
- ・ 第2回 先進校視察報告、モデル校報告、中間報告提案
- ・ 第3回 モデル校報告、中間報告検討
- ・ 第4回 モデル校報告、中間報告検討

(2) 先進校視察の概要

① 視察先

令和6年5月29日（水）・30日（木）富山市立芝園小学校

令和6年7月5日（金）板橋区立板橋第十小学校

令和6年11月25日（月）豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校

令和7年6月11日（水）春日井市立出川小学校

令和7年6月13日（金）春日井市立高森台中学校

② 先進校の実践状況

【教職員の資質・能力の向上】

- 富山市立芝園小学校では、児童と同じように教員も探究を進めることが大切であるとして教員の研修を重視しており、教員自身が成長を感じられることが教職への意欲向上につながると考え、授業力を磨く機会として一人一研究授業に取り組んでいる。
- 春日井市立高森台中学校では、教師は学習プロセスを設計し、生徒の学びを支援する役割を担っている。特に、綿密な準備と生徒への適切な「言葉掛け」が重要であり、生徒の活動を常に観察し、適切なタイミングで助言や支援を行うことを大切にしている。また、教師自身が常にクラウド環境やチャットツールなどを活用し、情報活用能力を向上させることが授業作りの基盤であると捉えている。

【情報活用能力育成カリキュラム】

- 情報活用能力を学習の基盤となる重要な資質・能力と位置付け、系統的に育成する取組が進められている。

- 春日井市立出川小学校と高森台中学校は、文部科学省指定の研究開発学校として、学習の基盤となる資質・能力の育成に取り組んでおり、クラウド環境での学習を前提とした義務教育9年間の一貫したカリキュラムを作成している。

また、情報科を創設し、各教科から情報を扱う学習内容を抽出し、情報の時間で先行して学ぶとともに各教科等の授業において教科横断的に活用できるように構成している。

- 情報活用能力の指導は、汎用的な内容を様々な教科等で何度も実践し、確実に活用できるようになるまで繰り返すことが重視されている。

【学校DX化の推進】

- 富山市の研究協議会では、市内の先生方が Chromebook を持ち寄り、Google Workspace(以下、GWS)のチャット機能を活用して、リアルタイムに意見交換がされている。また、学校行事や学習指導案の検討においても、GWS 上での共同編集機能によりペーパーレスで情報共有・意見交換等できるようにしている。
- 豊島区立池袋本町小学校では、校務系及び学習系のネットワークに GWS を導入し、校務端末でも仮想デスクトップのアプリを使用して外部環境からも GWS を使用できるようにしている。

【教育環境の整備】

- 富山市立芝園小学校や板橋区立板橋第十小学校では、教室の廊下側に間仕切りがない、または可動式の間仕切りを採用し、オープンスペースとつながる広々とした空間を配置している。
- オープンスペースには、ひょうたん型テーブル、丸テーブル、ローテーブル、ホワイトボードなど、移動できる家具を配置し、児童が学習方法を主体的に選べる柔軟な教育環境が構築されている。
- 春日井市立出川小学校と高森台中学校は、オープンスペースは配置されていないが、教室内の限られた空間で一斉指導、個別学習、グループ学習等を自由かつ柔軟に展開している。

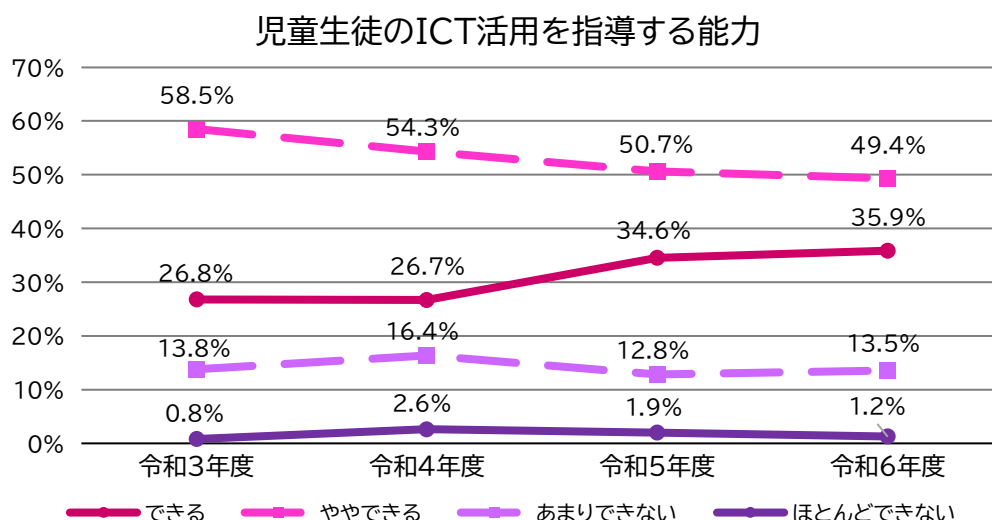
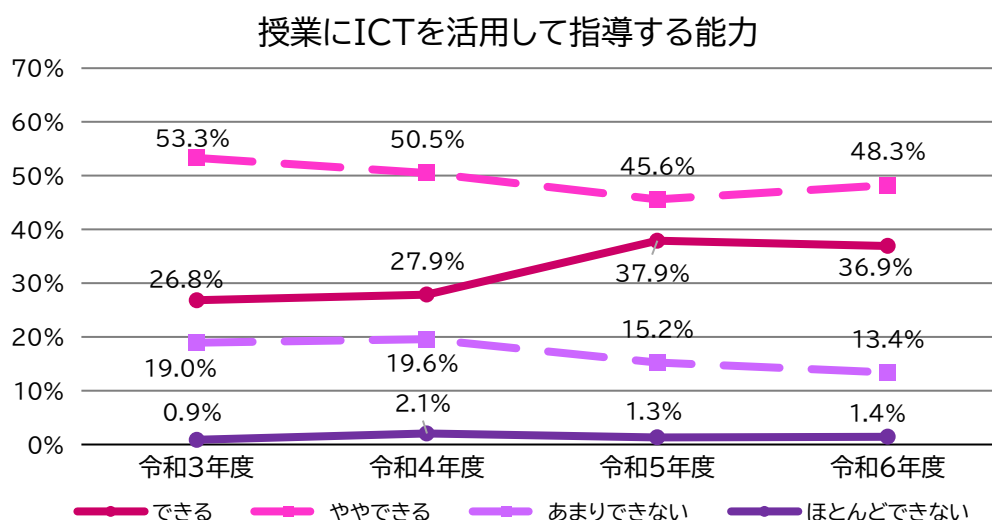
【生成AIの利活用】

- 春日井市立高森台中学校では、AI が生徒の学習をサポートし、個別最適化を促進する強力なツールとして活用されている。生徒が分からないことを生成AIに直接質問し、自分にとって分かりやすい説明を得ることで、理科の実験手順や数学の有理化など、教師が何度も説明する必要がある内容でも自己解決できるようになっている。

(3) 台東区の現状

【教職員の資質・能力の向上】

- 文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における設問「授業に ICT を活用して指導する能力」及び設問「児童生徒の ICT 活用を指導する能力」の回答結果から、いずれの能力も向上していると捉えられるが、年々減少しているとはいえ、苦手意識のある教員がまだ一定数いる。



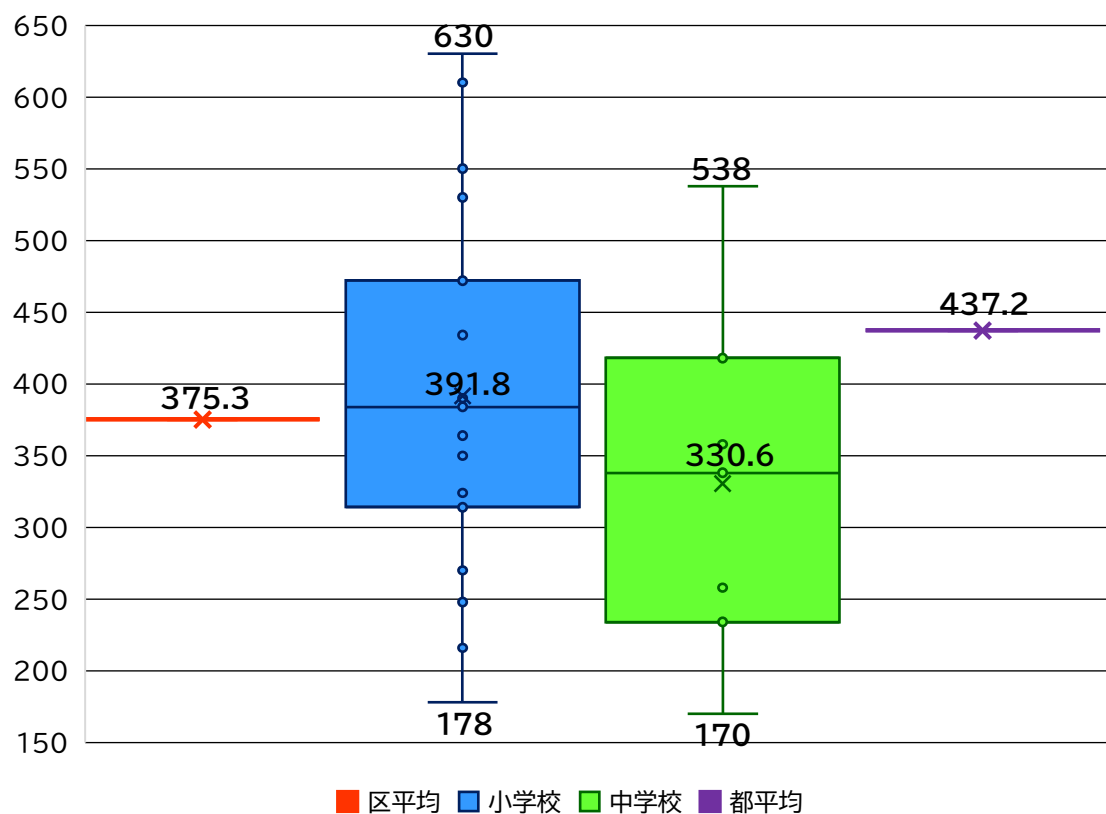
文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」は、学校教育及び教育行政のために地方公共団体において整備された ICT 機器のほか、学校のインターネット接続環境、教員の ICT 活用指導力の実態等の状況を明らかにし、国・地方を通じた教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的とし、毎年3月1日を調査の基準となる期日として実施している。

【情報活用能力育成カリキュラム】

- 学校ごとに作成した「情報活用能力の育成に関する指導の年間指導計画」に基づいて系統的に指導を行っている。しかしながら、各校の指導計画が統一された内容ではないため、ICT 機器の操作スキルを含む情報活用能力に学校間や個人間で差が見られる。

【学校 DX 化の推進】

- 文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」における令和 6 年度の回答結果から、平均値において東京都よりも約 60 ポイント低い。
また、小学校と中学校の平均値の差は、約 60 ポイントある。
さらに、校種間よりも学校間の差が大きく、最大値と最小値の差は小学校では 452 ポイント、中学校では 368 ポイントある。



文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」は、各教育委員会・各学校の校務 DX の取組状況を自己点検するためのリストであり、働き方改革における PDCA サイクルの構築等に取り組むことを目的として、毎年 9 月 1 日を調査の基準となる期日として実施している。

【教育環境の整備】

- 小学校 6 校、中学校 7 校は、廊下の片側又は両側に教室が配置されており、教室と廊下が壁で区切られている片廊下型教室配置である。
- 小学校 13 校は、廊下と教室との間に壁がなく、オープンスペースでつながっているオープンスクール型教室配置である。
- 片廊下型教室配置は、1 つの教室で学びが完結する一斉授業に適しており、オープンスクール型教室配置は、多様な学習展開に対応することができる。

【生成 AI の利活用】

- 文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」における設問「生成 AI を校務で活用していますか」において、令和 6 年度は 15 校が「全く活用していない」、11 校が「一部の教職員が活用している（半分未満）」と回答している。
- 台東区立学校の教職員が取り組む校務及び児童・生徒の学習活動における生成 AI の利活用に当たっての基本的な考え方や押さえるべきポイントを示し、学校現場における生成 AI の適切な利活用を実現することを目的として「台東区立学校における生成 AI の利活用に関するガイドライン 第 1 版」を作成し、教職員の利活用を推進している。

なお、児童・生徒の文章生成 AI の利用は、令和 7 年 12 月現在、原則として控えることとしている。

○ TAITO フューチャースクールの実現に向けた方向性

【新しい時代の学びの姿】

- 【台東区学校教育ビジョン】

○ 育てたい人間像

- ## 【TAITOフューチャースクールのコンセプト】

TAITOフューチャースクールが大切にする「3つのI」

TAITOフューチャースクールの在り方

多様な他者とのつながりのある学びの展開

- ・異なる考え方が組み合わせたり、よりよい学びを生み出す多様な他者との協働
- ・多様な地域・社会の教育資源の活用

高いところぎしの育成

- ・各教科等における探究的な学習活動の充実
- ・個々のキャリア形成に資する教育活動の充実

余白(ゆとり)の創出・活用

- ・教員の校務用端末と学習用端末の一台化による教育データの連携
- ・教科等や学習活動に応じた多様かつ柔軟な教育施設の活用

4 モデル校の実践

上野小学校と駒形中学校をモデル校に指定し、TAITO フューチャースクールのコンセプトに基づき、以下のとおり実践研究に取り組んでいる。

【教職員の資質・能力の向上】

- 日常的に GWS を活用し、授業準備や校務の効率化を図るとともに、教職員間での情報共有を促進している。
- GWS や学習支援ツールの効果的な活用方法について、校内研修や OJT を実施し、実践的なスキル習得に取り組んでいる。
- 児童・生徒の多様で柔軟な学びを保障するため、教職員の意識改革を進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導力の向上を目指しています。

【情報活用能力育成カリキュラム】

- 児童・生徒の情報活用能力を体系的に育成するため、各教科における学習活動を精査し、情報活用能力の育成に資する場面を整理している。
- 学習活動に必要な ICT 機器の基本操作技能を洗い出し、学年ごとの習得目標を設定し、教科横断的な情報活用能力の育成を図り、児童・生徒が主体的に ICT を活用できる力を身に付けることを目指している。

【学校 DX 化の推進】

- 校内の業務効率化と協働的な校務運営を実現するため、GWS を活用した学校 DX 化を推進している。
- 校内研修では、教職員間で意見交換を行うとともに、指導案の共同編集を通じて授業改善を図っている。
- チャット機能を活用したりリアルタイムの情報共有により、迅速な意思決定と円滑なコミュニケーションを実現しています。

【教育環境の整備】

- 児童・生徒の主体的な学びを促進するため、校内の物理的環境整備に取り組み、オープンスペースの活用を促進し、協働的な学習や探究活動の場を確保している。
- ランドセルロッカーの有効活用や児童機の配置変更により、学習空間の柔軟性を高め、学びやすい環境を整えている。

【生成 AI の利活用】

- 業務の効率化と質の向上を目的に、生成 AI の活用を進めている。職員会議の議事録作成や校内研修の報告書作成に AI を活用し、事務作業の負担軽減を図っている。
- 文部科学省や東京都教育委員会からの報告書等を AI で要約し、必要な情報を迅速に把握できる体制を整えている。

5 今後の検討課題

本検討委員会における協議及びモデル校における実践の積み重ねに基づき、引き続き検討すべき課題を以下のとおり示す。

【教職員の資質・能力の向上】

- 管理職の意識改革や、情報化を推進していくリーダー等の育成、子供たちの探究的な学びを実現できる教員の育成に関する研修を実施し、全ての教職員の指導力、活用力の向上を図ること
- 一部の教職員による先進的な ICT 活用にとどまることなく、管理職や中心となる教職員から組織的に学校全体の活用底上げへとつなげるための校内体制の在り方について整理すること
- モデル校における ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学習活動の充実に係る実践を区内学校へ効果的に展開すること。

【情報活用能力育成カリキュラム】

- 学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を教科等横断的、かつ発達段階に応じて系統的に育成していくために、義務教育 9 年間を見通した情報活用能力育成カリキュラムを作成すること
- 情報活用能力育成のための新たな教科（情報科など）を新設する必要性について検討すること

【学校 DX 化の推進】

- モデル校における汎用クラウドツールの効果的な活用事例を蓄積し、校務系端末と学習系端末の 1 台化に向けた方策について整理すること
- 学校と保護者間の連絡手段や生徒への配布物、教職員間の情報共有などのデジタル化を加速すること

【教育環境の整備】

- 区内の博物館・美術館などの文化施設や台東区にゆかりのある企業・団体・学識経験者などと連携した教育活動を、デジタルの力を活用して発展・充実させること
- オープンスペースの有無にかかわらず、多様かつ柔軟に教育施設を活用するための整備方針及び方策について整理すること

【生成 AI の利活用】

- 台東区立学校における生成 AI の利活用に関するガイドライン（第 1 版）に基づき、校務における生成 AI の利活用を推進することを通して、効果的な活用事例を蓄積するとともに、児童・生徒の生成 AI 利活用の在り方について整理すること

6 資料編（付録）

（１） 委員会構成員一覧（敬称略）

区 分	所 属	令和 6 年度	令和 7 年度
委員長 学識経験者	東京学芸大学教授	高橋 純	高橋 純
副委員長 学識経験者	東京理科大学教授	垣野 義典	垣野 義典
保護者	台東区立小学校 P T A 連合会	坂田 真也	土肥 拓生
保護者	台東区立中学校 P T A 連合会	平柳 洋一	小出 恭正
学校	台東区立小学校長会	田中 康雄	田中 康雄
学校	台東区立中学校長会	渡邊 和彦	渡邊 和彦
行政	教育委員会事務局次長	前田 幹生	佐々木 洋人
行政	庶務課長	山田 安宏	山田 安宏
行政	教育施設担当課長	森田 孝次	中島 伸也
行政	学務課長	川田 崇彰	仲田 賢太郎
行政	指導課長	宮脇 隆	宮脇 隆
行政	教育改革担当課長	増嶋 広曜	増嶋 広曜

（２） 会議資料・参考文献

[台東区公式ホームページ「TAITO フューチャースクール検討委員会」](#)

① 令和6年度第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和6年5月27日開催

○ 議事録

[第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料1】「TAITO フューチャースクール」検討委員会 設置要綱、委員名簿](#)

[【資料2】TAITO フューチャースクール ロードマップ](#)

[【資料3】第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 説明資料](#)

[【資料4】中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して\(答申\)」【総論解説】](#)

[【資料5】「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】](#)

[【資料6】創造的な学習空間の創出に関する調査研究 報告書概要](#)

[【資料 7】「東京都学校教育情報化推進計画」説明資料](#)

[【資料 8】\(上野小学校提出資料\)本物志向・未来志向の学校づくり\(1\)](#)

[【資料 8】\(上野小学校提出資料\)本物志向・未来志向の学校づくり\(2\)\(ポンチ絵\)](#)

② 令和6年度第2回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和6年7月30日開催

○ 議事録

[第 2 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[第 2 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】TAITO フューチャースクール検討委員会 先進校視察報告](#)

[【資料 2】\(坂田委員提出資料\)教育現場での動画活用の可能性について～動画が変える未来の風景～](#)

[【資料 3】TAITO フューチャースクールのコンセプト](#)

③ 令和6年度第3回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和6年12月26日開催

○ 議事録

[第 3 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[第 3 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】区立学校の現状について](#)

[【資料 2】TAITO フューチャースクール検討委員会 先進校視察報告](#)

[【資料 3】モデル校報告資料](#)

[【資料 4】TAITO フューチャースクールの実現に向けた方向性\(案\)](#)

[【資料 5】TAITO フューチャースクール R7 年間スケジュール\(案\)](#)

④ 令和7年度第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和7年5月9日開催

○ 議事録

[令和 7 年度第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[令和 7 年度第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】「TAITO フューチャースクール」検討委員会設置要綱](#)

[【資料 2】「TAITO フューチャースクール」検討委員会委員名簿](#)

[【資料 3】TAITO フューチャースクール ロードマップ](#)

[【資料 4】令和 7 年度第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 事務局説明資料](#)

[【資料 5】「TAITO フューチャースクール」の実現に向けた方向性](#)

[【資料 6】研究モデル校報告\(上野小学校\)](#)

[【資料 7】研究モデル校報告\(駒形中学校\)](#)

[【参考資料 1】中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して\(答申\)】【総論解説】](#)

[【参考資料 2】「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】](#)

[【参考資料 3】創造的な学習空間の創出に関する調査研究 報告書概要](#)

[【参考資料 4】「東京都学校教育情報化推進計画」説明資料](#)

⑤ 令和7年度第2回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和7年7月15日開催

○ 議事録

[令和7年度第2回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[令和7年度第2回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】TAITO フューチャースクール検討委員会 先進校視察報告](#)

[【資料 2】TAITO フューチャースクール検討委員会 中間報告に向けて](#)

[【資料 3】研究モデル校報告\(上野小学校\)](#)

⑥ 令和7年度第3回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和7年9月18日開催

○ 議事録

[令和7年度第3回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[令和7年度第3回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】TAITO フューチャースクール検討委員会 中間報告\(案\)](#)

[【資料 2】Microsoft 365 から Google Workspace への移行に関する教員向けアンケートの結果について](#)

[【資料 3】研究モデル校報告\(上野小学校\)](#)

[【資料 4】研究モデル校報告\(駒形中学校\)](#)

⑦ 令和7年度第4回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和7年9月18日開催

○ 議事録

[令和7年度第4回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

○ 会議資料

[令和7年度第4回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】TAITO フューチャースクール検討委員会 中間報告\(案\)](#)

[【資料 2】研究モデル校報告\(上野小学校\)](#)

[【資料 3】研究モデル校報告\(駒形中学校\)](#)